

に檳榔扇、檳榔毛車など云し、檳榔も、蒲葵と聞ゆれば、阿遲麻佐も蒲葵ならむか、今薩摩に檳榔島と云ありて、其處に在も蒲葵なりと云り、檳榔と櫻櫛と蒲葵とは、大かた似たる物にて、既に漢國にでも、まざれつることあれば、況て此方にて、古其漢名を當しハ、まざれけむことうべなり、さて土佐國の海にも、びらう島と云ありて、人家などはなくて、山はことぐくびらうの木生たりと云り、

〔大和本草十果木〕^{〔雜木〕} 檳榔子 ^{暹羅交趾}_{〔合カウチ〕}ノ國俗ニ、客來レバ先檳榔子ヲ出シ食セシム、日本ニテ烟草ヲ食ス、ガ如シ、而後茶菓ヲ出ス、彼國南方ニアリ、檳榔ハ溫熱ヲ去ルガ故也、本草ニ嶺南人當果ヘバ不澀銀錫ヲ以香盒ノ如ク小合ヲ作リテ入テ客ニ出スト、范西湖ガ桂海志ニイヘリ、中華ニモ檳榔多シ、日本ニハ薩摩日向ニアリト云、葉ハ櫻櫛ニ似タリ、伊豆ノ下田ノ百里ヲキ無人島ニモ有之ト云、檳榔ト大腹子ト、其樹相似テ別ナリ、然レドモ通用スペシ、但大腹子ノ力ハ檳榔子ニスヨシラトル、是時珍ガ説ナリ、

〔大和本草十二〕^{〔雜木〕} 蒲葵 ^{〔ビワ〕} 本艸櫻櫛集解時珍云、別有蒲葵葉與此相似而柔薄可爲扇笠、許慎説文以爲櫻櫛亦誤矣、中華ヨリ來ル蒲葵扇ハ此葉ナリト云、本艸三十八卷器物類ニ、時珍云、蒲扇、嶺南以蒲葵爲之ト云ヘリ、南方草木狀曰、蒲葵如栟櫚而柔薄可爲葵笠、今案ニ蒲葵其葉櫻櫛葉ニ似テヒロシ、日向及肥前ノ平戸ニ多シ、肥後ニハビレウ島トテ、此物多ク生ズル島アリト云、對馬ニテハゴハト云、蒲扇今長崎ニアリ、

〔和漢三才圖會八十八〕^{〔夷果〕} 檳榔子 賓門 仁頻 洗瘡丹 賓興郎皆貴客之稱略 中

檳榔子 ^{苦辛}_{温澀} 下一切氣通關節利九竅下水腫治瀉痢後重療諸瘻泄胸中至高之氣使之下行性如鐵石之沈重治駁厥腹痛其功有四、一曰醒能使之醉、蓋食之久則熏然頰赤若飲酒然二曰醉能使之